

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2008-189348(P2008-189348A)

【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-24766(P2007-24766)

【国際特許分類】

B 6 5 D 30/16 (2006.01)

B 6 5 D 30/02 (2006.01)

B 6 5 D 30/18 (2006.01)

B 6 5 D 30/20 (2006.01)

A 4 5 C 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 30/16 G

B 6 5 D 30/16 C

B 6 5 D 30/16 F

B 6 5 D 30/02

B 6 5 D 30/18 F

B 6 5 D 30/20 C

A 4 5 C 3/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月2日(2009.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、
前記表胴版と背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、
前記表胴版と裏胴版との間において前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襷部とを備え、

前記表胴版及び裏胴版は、

襷部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で、第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、表胴版及び裏胴版は、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部を備え、

前記襷部は、

前記表胴版の第 1 側縁及び裏胴版の第 1 側縁に対応する略方形状の第 1 側襷部と、前記表胴版の第 2 側縁及び裏胴版の第 2 側縁に対応する略方形状の第 2 側襷部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形状の底襷部とを有し、

第 1 側襷部と底襷部との境界の近傍及び第 2 側襷部と底襷部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第 1 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 1 角部及び裏胴版の第 1 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 1 角部に対応した、第 1 角襷部、並びに表胴版の第 2 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 2 角部及び裏胴版の第 2 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 2 角部に対応した、第 2 角襷部を形成され、

前記襷部は、表胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第 1 側縁と第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備える、表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襷部材で形成され、

前記襷部材は、

第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、

表側長手端縁と裏側長手端縁との間において、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、

前記襷部材は、

長手方向に連続する、表側長手端縁の第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する、第 1 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第 2 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外周縁、すなわち第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の近傍の内側面で第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連結され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連結されるときにも、

底縁の内側面に接し合わされた底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、

バッグ。

【請求項 2】

前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、

前記襷部は、前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する平面視長方形の軟質オレフィンシートからなる襷部材で構成され、

襷部材は、第 1 角襷部及び第 2 角襷面で折り曲げられた状態において、

底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挟着補強部及び裏胴版の挟着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着された、

請求項 1 に記載のバッグ。

【請求項 3】

表胴版及び裏胴版は、第 1 側縁の外側に折り曲げ部を介して連結された挟着補強部と、第 2 側縁の外側に折り曲げ部を介して連結された挟着補強部とを備え、

襷部材は、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、

且つ、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、

請求項 1 又は 2 に記載のバッグ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明の請求項 1 にかかるバッグは、正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、前記表胴版と背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、前記表胴版と裏胴版との間において前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襷部とを備え、前記表胴版及び裏胴版は、襷部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で、第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、表胴版及び裏胴版は、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部を備え、前記襷部は、前記表胴版の第 1 側縁及び裏胴版の第 1 側縁に対応する略方形の第 1 側襷部と、前記表胴版の第 2 側縁及び裏胴版の第 2 側縁に対応する略方形の第 2 側襷部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形の底襷部とを有し、第 1 側襷部と底襷部との境界の近傍及び第 2 側襷部と底襷部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第 1 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 1 角部及び裏胴版の第 1 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 1 角部に対応した、第 1 角襷部、並びに表胴版の第 2 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 2 角部及び裏胴版の第 2 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 2 角部に対応した、第 2 角襷部を形成され、前記襷部は、表胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第 1 側縁と第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備える、表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襷部材で形成され、前記襷部材は、第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、表側長手端縁と裏側長手端縁との間において、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、前記襷部材は、長手方向に連続する、表側長手端縁の第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する、第 1 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第 2 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外周縁、すなわち第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の近傍の内側面で第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連設され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連設されるとともに、底縁の内側面に接し合わされた底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、バッグである。

この発明の請求項 2 にかかるバッグは、前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、前記襷部は、前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する平面視長方形の軟質オレフィンシートからなる襷部材で構成され、襷部材は、第 1 角襷部及び第 2 角襷面で折り曲げられた状態において、底襷部

の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挟着補強部及び裏胴版の挟着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着された、請求項 1 に記載のバッグである。

この発明の請求項 3 にかかるバッグは、表胴版及び裏胴版は、第 1 側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部と、第 2 側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部とを備え、襷部材は、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 側襷部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、請求項 1 又は 2 に記載のバッグである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この発明によれば、正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、前記表胴版と背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、前記表胴版と裏胴版との間において前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襷部とを備え、前記表胴版及び裏胴版は、襷部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で、第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、表胴版及び裏胴版は、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部を備え、前記襷部は、前記表胴版の第 1 側縁及び裏胴版の第 1 側縁に対応する略方形の第 1 側襷部と、前記表胴版の第 2 側縁及び裏胴版の第 2 側縁に対応する略方形の第 2 側襷部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形の底襷部とを有し、第 1 側襷部と底襷部との境界の近傍及び第 2 側襷部と底襷部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第 1 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 1 角部及び裏胴版の第 1 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 1 角部に対応した、第 1 角襷部、並びに表胴版の第 2 側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第 2 角部及び裏胴版の第 2 側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第 2 角部に対応した、第 2 角襷部を形成され、前記襷部は、表胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第 1 側縁と第 2 側縁の長さ、底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備える、表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襷部材で形成され、前記襷部材は、第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、表側長手端縁と裏側長手端縁との間において、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、前記襷部材は、長手方向に連続する、表側長手端縁の第 1 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第 2 側襷部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第 1 側縁、第 2 側縁及び底縁の内側面で第 1 側縁の近傍の溶着代、第 2 側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する

、第1側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の近傍の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連設され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連設されるとともに、底縁の内側面に接し合わされた底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着されているので、襠部及び胴版が補強されて変形しにくく、耐久性に優れたバッグを得ることができる。

請求項2の発明によれば、前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、前記襠部は、前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁の長さとは底縁の長さとは対応する長さを有する平面視長方形の軟質オレフィンシートからなる襠部材で構成され、襠部材は、第1角襠部及び第2角襠面で折り曲げられた状態において、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挟着補強部及び裏胴版の挟着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着されているので、襠部及び胴版部が補強されてその中に収容された物品等の重みにより変形することがない。

請求項3の発明によれば、表胴版及び裏胴版は、第1側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部と、第2側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部とを備え、襠部材は、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着されているので、襠部材の底襠部及び第1側襠部と第2側襠部とが補強され、収容された物品の重みにより変形することが少ない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

前記襠部材50は、長手方向に連続する、表側長手端縁52の第1側襠部62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110、底襠部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び第2側襠部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118において、表胴版12の外周縁、すなわち第1側縁30、第2側縁32及び底縁34の内側面で第1側縁30の近傍の溶着代30a、第2側縁32の近傍の溶着代32a、底縁34の近傍の溶着代34aに溶着されて表胴版12と連結されている(図17参照)。

そして、長手方向に連続する、第1側襠部62の裏側長手端縁54の近傍の溶着代112、底襠部64の裏側長手端縁54の近傍の溶着代116及び第2側襠部66の裏側長手端縁54の近傍の溶着代120において、裏胴版14の外周縁、すなわち第1側縁40、第2側縁42及び底縁44の近傍の内側面で第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aに溶着されて、裏胴版14

と連結される。

第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aは、表胴版12の溶着代30a、32a、34aと同様に形成され、第2側縁42の近傍の溶着代42aは、第1側縁40の近傍の溶着代40aと同様に形成されている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

次に、襷部材50を表胴版12及び裏胴版14に溶着する方法について説明する。

襷部材50は、第1角襷部70及び第2角襷面90bで折り曲げられた状態において、第1側襷部材62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112で、表胴版12の第1側縁30の溶着代30a及び裏胴版14の第1側縁40の内側の溶着代40aと接し合わせ、更に、表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版12の挟着補強部222a及び裏胴版14の挟着補強部222dを折り曲げ部30b及び折り曲げ部40bにおいて折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

そして、底襷部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代116で、表胴版12の底縁34の溶着代34a及び裏胴版14の底縁44の内側の溶着代44aと接し合わせ、更に、表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代116の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版12の挟着補強部222c及び裏胴版14の挟着補強部222fを折り曲げ部34b及び折り曲げ部44bにおいて折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

更に、第2側襷部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代120で、表胴版12の第2側縁32の溶着代32a及び裏胴版14の第2側縁42の内側の溶着代42aと接し合わせ、更に、表側長手端縁52の近傍の溶着代118及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代120の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版12の挟着補強部222b及び裏胴版14の挟着補強部222eを折り曲げ部32b及び折り曲げ部42bにおいて折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

なお、第1側襷部材62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110は折り罫110aで、裏側長手端縁54の近傍の溶着代112は折り罫112aで、底襷部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114は折り罫114aで、裏側長手端縁54の近傍の溶着代116は折り罫116aで、第2側襷部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118は折り罫118aで、裏側長手端縁54の近傍の溶着代120は折り罫120aで、それぞれの内側面を外側すなわち表胴版12及び裏胴版14側に向けて折り、第1側襷部材62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110は表胴版12の第1側縁30の左端縁に、裏側長手端縁54の近傍の溶着代112は裏胴版14の第1側縁40の左端縁に、底襷部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114は表胴版12の底縁34の下端縁に、裏側長手端縁54の近傍の溶着代116は裏胴版14の底縁44の下端縁に、第2側襷部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118は表胴版12の第2側縁32の右端縁に、裏側長手端縁54の近傍の溶着代120は裏胴版14の第2側縁42の右端縁に、それぞれ略々揃えて溶着される。